

令和5年度

事業計画書



公益財団法人 国際交通安全学会
International Association of Traffic and Safety Sciences

目 次

令和5年度 事業計画

事業計画の重点	1
---------	---

事業計画

I. 研究調査	2
II. 国際連携	3
III. 広報・出版	3
IV. 褒賞	3
V. IATSSフォーラム	4
VI. 業務運営等	4

収支予算書等

収支予算書(正味財産増減予算書)	5
収支予算書(正味財産増減予算書内訳表)	7
資金調達及び設備投資の見込み	9

事業計画の重点

理想的な交通社会の実現に寄与することを目的とし、
〈国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業〉を行う。

1. 交通及びその安全に関する研究調査
2. 交通及びその安全に関する研究会の開催
3. 交通及びその安全に関する情報、資料及び文献の収集及び発行
4. 交通及びその安全に関する研究調査、教育その他の活動に対する褒賞
5. 諸外国における理想的な交通社会実現に向けた研修
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(展開に当たっての基本的な考え方)

1. 学際性並びに国際性を特徴としての、先見性及び実際性を目指す活力ある事業の展開
2. 社会の変化をとらえつつ、予定される収入を基とする効率的かつ均衡のとれた事業運営の継続

(今年度の重点施策)

1. 創立50周年(2024年)に向けた活動の継続と進化
 - 1) 創50関連研究プロジェクトの継続と進化
 - 国際共同研究展開プロジェクト
 - 国際共同社会実装展開プロジェクト
 - 2) 創立50周年(2024年)イベント企画、推進計画の具体化
2. 基幹事業の進化
 - 1) 研究調査プロジェクトの活性化
 - 2) ATRANSによる共同研究を支援
3. IATSSフォーラム事業の進化
 - 1) 新研修施設の活用とウィズコロナ下の研修再開
 - 2) 時代に即した新研修プログラムの開発と進化

事業計画

項 目	予 算 (円)
国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業	630,800,000

内 容

I. 研究調査

1. 次の方針を維持して運営する。

- 1) 本会の目的である理想的な交通社会の実現に寄与するという原点に立ち、特徴である学際的かつ国際的な研究調査テーマに取り組む。
- 2) 研究調査の成果については、社会への発信に加え、実践及び具現への提言を積極的に行う。

2. 創50戦略会議の戦略に基づく第3期研究調査プロジェクトを継続する。

3. 研究調査部会企画委員会の選考に基づくプロジェクトを展開する。

自主研究、行政/団体連携、社会貢献の各領域におけるプロジェクト*を推進する。

- ・ 社会/技術の環境変化を捉えた研究
- ・ 海外、特にアジアを対象とする現地組織と連携した研究
- ・ IATSSフォーラム（同窓会、修了生、現地事務局）と連携した研究
- ・ 若手研究者の育成に資するプロジェクトの運営(国際発表等)
- ・ 若手研究者を対象とした海外調査支援制度を実施する。

※12本程度実施

4. 研究調査事業の成果報告会を開催する。

研究調査活動の成果を学会内で共有/議論し（研究調査内部報告会）、特に成果が認められた活動については研究調査報告会にて広く社会へ公開し社会貢献の一助とする。

II. 国際連携

国際性を高める観点から以下施策を推進する。

1. 「第9回GIFTS*：国際フォーラム」を開催する。
* Global Interactive Forum on Traffic and Safety
2. 海外招待会員、海外名誉顧問、英文論文集海外編集委員等に加え、交通に関わる研究者、組織とのネットワークを研究調査、出版、GIFTS等に活用する。
3. ベルギーの交通安全研究所“Vias institute”の所掌する約48か国の共同研究プロジェクトESRA3(交通行動に関するe-survey)に参画する。
4. アジア諸国の現地研究機関への業務委託を通じ、研究調査活動を実施する。
5. JICAとの協業を実施する。

III. 広報・出版

交通とその安全に関する研究成果を広く社会に発信することで、会員及び海外を含む研究者・学識経験者の知識交流の場を提供するとともに、本会の活動を広く認識してもらうために、以下の活動を推進する。

1. 「IATSS Review：国際交通安全学会誌」を刊行する。
2. 「IATSS RESEARCH：英文論文集」を電子ジャーナルとして出版する。
3. 研究調査成果及び広報資料を発行する。
4. 英文コンテンツの充実をはじめ、Webを活用した国内外への積極的な情報発信を図る。

IV. 褒賞

交通及びその安全に関する「業績」「著作」「論文」の各部門で選考し、学会賞贈呈式にて授賞する。

内 容

V. IATSSフォーラム

IATSSフォーラム創立40周年にあたる2025年に向け、以下の施策を推進する。

1. 40周年記念事業の企画
2. 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、IATSSフォーラム研修の再開を進める。
 - 1) 開催期間
第63回（6月4日から7月8日までを予定）
第64回（10月1日から11月4日までを予定）
 - 2) 参加国
以下10か国の参加を予定
インド、インドネシア、カンボジア、
シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、
マレーシア、ミャンマー、ラオス
3. 新研修プログラム見直し
 - ・アジア各国の発展に寄与するリーダー育成というフォーラムの目的や、研修手法・コンセプトを維持しつつ、よりIATSSの調査研究や会員の知見を活かした題材を取り入れる方向でプログラム改訂検討を進める。2024年度の研修から新プログラムの導入を目指す。

VI. 業務運営等

1. コロナ禍への的確な対応及びリモート技術の活用をはじめとした学会活動を進化させる。
2. 八重洲オフィスを移転する。
 - ・八重洲地区再開発に伴うホンダ八重洲ビル撤去のため2023年4月に移転する
 - ・移転先：東京都中央区八重洲2-1 YANMAR TOKYO 6階